

事業報告書

(自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)

定款第3条に基づき、補体研究・調査、講演会・ワークショップなどの開催、機関誌・図書の発行などを行った。

I. 学術集会、講演会等の開催

第52回日本補体学会学術集会を平成27年8月21-22日名古屋にて開催。

II. 学会機関誌その他の刊行物の発行

1. 学会誌「補体」第52巻 第1号を平成27年8月21日に発行。
2. 学会誌「補体」第52巻 第2号を平成27年12月17日に発行。

III. 研究の奨励及び研究業績の表彰

1. 村上良子氏を第52回日本補体学会優秀賞に選考。

IV. 関連学術団体との連絡及び協力

1. 「日本学術会議協力学術研究団体」指定への申請を行い、平成27年7月24日付けで指定（府日学第1246号）を受ける。

V. 補体関連疾患の診断指針の作成と検査法向上の推進

1. 研究課題「新しい補体検査システムの構築による補体関連疾患の包括的登録と治療指針確立への展開」を推進。
2. 「補体関連疾患に関する病態解明、それら疾患に対する新規診断方法および治療法の開発に関わる疫学研究、基礎研究、臨床研究」のテーマで、平成27年度委託研究を募集し、4名を採択。
3. 補体タンパク質検査や補体関連遺伝子変異検査を、平成27年12月11日より受付を開始。
4. アレクシオンファーマ合同会社と第一期事業を平成28年4月30日終了し、平成28年5月1日より第二期事業開始。
5. 補体検査全般の検査体制を充実させるため、CSLベーリング社と受委託契約を締結し、開始予定。
6. 平成28年6月24日より新規の「補体検査プロジェクト」の募集開始。
7. 「補体関連疾患に関する病態解明、それら疾患に対する新規診断方法および治療法の開発に関わる疫学研究、基礎研究、臨床研究」のテーマで、平成28年度委託研究を募集し、審査中。
8. その他の補体関連疾患に関して、日本造血幹細胞移植学会、日本移植学会、日本川崎病学会等の各学会責任者に、補体検査プロジェクトの説明を行い、参加意向について調査した。

VI. 国際的な研究協力の推進

1. 平成27年7月12日～7月14日までオーストリアで行われた第5回 HUS & related disorders 国際カンファレンスに参加し、情報収集。
2. 平成28年1月22日～1月23日までハンガリーで行われた 2nd Strategy Workshop on the Standardization and External Quality Assessment (EQA) of Complement Analysis に参加し、EQA 関連情報の収集と国際標準化について協議。

VII. 会議

1. 理事会を平成27年7月から平成28年6月まで12回開催した。

VIII. その他

1. 平成27年7月24日の第1回臨時理事会にて「学術集会参加費および旅費の助成規程」の制定。細則の改訂「監事の人数の変更」
2. 平成27年12月7日の第4回臨時理事会にて「日本補体学会利益相反規程」の制定。
3. 平成28年2月9日の第2回通常理事会にて細則の改訂。
4. 平成28年2月16日の第5回臨時理事会にて倫理・利益相反委員会構築のための、委員、外部委員の構成を制定。委員長に理事 関根英治氏、外部委員に竹田憲司氏選出。
5. 平成28年2月24日の第6回臨時理事会にて「旅費規程」の制定。
6. 平成28年3月1日の第7回通常理事会にて細則の改訂。